

令和5年度 第1回学校運営協議会
(兼 高校と地域で創る未来の学びプロジェクト事業地域連携組織)
議 事 録

日時 令和5年5月25日(木) 13:30~16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校記念館3階会議室

(委員15名のうち、10名が出席。岡山県教育庁高校魅力化推進室より2名同席)

1 校長挨拶(任命書交付)

- 委員を依頼するにあたっての根拠
- 県立高等学校体制整備計画
- 令和5年度各系列(コース)在籍数
- 令和5年度学校経営計画書

2 出席者紹介

3 (1) 岡山県立学校における学校運営協議会の設置について

- 岡山県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- 岡山県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱
- コミュニティ・スクール図説

(2) 岡山県立勝間田高等学校における運営協議会について

4 会長選出

水嶋 淳治 氏 で承認

5 会長挨拶

少子高齢化が進む中、地域が担う役割はますます重要となっている。生徒が少なくなり、再編・廃校が進められるという危機感でここまで来たが、さらに、勝間田高校の魅力を発信して存在意義を示し、少人数でも「なくてはならない学校」として位置づけることが必要である。そのためには、魅力づけとそれを発信していくことに尽力し、勝間田高校に来たい生徒を1人でも2人でも増やしていき、「なくてはならない学校」となるよう、委員のみなさんにそれぞれの分野で力添えいただき、御協力をお願いしたい。

6 本校の現状と課題

- (1) 令和4年度の教育活動について
- (2) 令和4年度学校評価書について
- (3) 令和5年度学校経営計画等について
- (4) 令和5年度の主な行事について

7 質疑・応答

特になし

8 意見交換

【議長】

これからの勝間田高校の教育活動について御意見や御提案をいただきたい。

【委員 A】

昨年度の会で、中途退学する生徒が少なくなってほしいと要望したが、尽力をいただき結果が出ている。入学した生徒がそのまま卒業できるよう、今後もお願いしたい。

【委員 B】

会長の挨拶にあったとおり、魅力をいかに発信するか、強みをどう太くしていくかが大きなキーになっていく。県の予算を取った事業計画をどう具体化し、それらが生徒や地域に何をもたらしていくのかを考えて行うことが重要である。勝央町やさまざまな機関と連携し、教育資源の活用をどのようにしていくのか、教職員がチームワークをとって実現していくことが重要である。

【委員 C】

成果が出ているが、まだやれることはたくさんある。広報では、普段の活動をただ発信するだけでなく、例えば、影響力のあるトレンドに乗っかるとか、一番真面目にやるとか、その中の一番になるとかなど、新しい切り口で今までと違う視点でやってみることもいいのでは。下準備はできているので、今後は攻めの姿勢で、ローカル番組に出るなどできればよい。

【委員 D】

県北は少子化が進んでいるが、それでも子どもはいる。選べる学校があるとよい。勝間田高校は専門的な学びができる学校である。魅力を発信できるよう一緒に頑張りたい。

「伐木チャンピオンシップ」の大会が今年は鳥取県で行われる。コロナが終わって来場者が増加すると思われる。生徒がその大会に参加するのだから、そこでのイベントで学校のPRをしてはどうか。こちらも協力したい。

【委員 E】

そのような大会に毎年出場していることも、私を含めて地域の方は全然知らない。その出場こそが魅力であると考えられるので、伝えていくことの重要性を感じる。

高校在学中に先生から勧められて出場した「芋－1グランプリ」(奈義町)で優勝でき、そのことで大きく成長でき、卒業後も自信となったとの話を聞いた。そのような大会で優勝したことも知らなかった。

また、別の人からは、勝間田高校の先生は生徒一人一人に耳を傾け、生徒の目線に合わせ、きめ細かい対応をしてくれると聞いた。例えば、提出物が期日に出せないときの対応の仕方などを、「なぜ」かを伝えてやり方を指示している。それも魅力である。

私ができることといえば情報発信である。津山テレビが「え〜がん 勝央見つけ隊」という番組を4月から始めた。勝央町だけでなく津山市の人も多く見ている。勝間田高校も勝央町にある1校しかない高校なので、取り上げてもらえるよう話をしていければと思っているがどうか。人の魅力が町の魅力になると思う。

【議長】

ぜひ取材をしてもらえばいいのでは。生徒が主役になるのがいいのではないかと思う。

【高校】

事前に話をし、こちらの意図を知った上で取り上げてもらえれば。

ほかにも、勝ブランドの取材で、勝間田高校の肉味噌に興味を持っていただいた。様々なところにつないでいただき、ありがたく思う。

【議長】

生徒の通学の足でもあるJR姫新線の勝間田駅の駅舎がリニューアルした。ずっとJRとも協議をしてきたが、駅でのイベントを了承していただいた。今も生徒がプランターを置いたり木の剪定や草刈りをしたりと整備をしているので、駅のPRイベントを一緒に企画したい。

【委員F】

露出をどれだけ増やしていけるかだと思う。セーブジャパンプロジェクトは継続していきたい。

ほかには、山陽新聞社と連携してSDGs推進に取り組んでいる。SDGsはあと7年間で達成しないといけない。森林を守る切り口で、森林・園芸系列でなにか取組をしていったらよいのではないか。8月2・3日に行われる「おかやまSDGsフェア2023」は、学校は出展料無料なので、出展してPRしては。

勝間田高校は普通科では経験できない体験ができる。学びの質が違う。3年間で経験できたことを、これからどう生かせるかを伝えていくことが重要だと思う。

【委員G】

勝間田高校にはいろいろな系列があることに興味を持ってもらえれば。

JAでは、インターンシップの受け入れや、アグリ魅力化プロジェクト等に関わっているが、生徒は明るく素直で活気があると感じている。先生も、生徒一人一人に合わせて接しており、そこに生徒も魅力を感じているように思う。引き続き勝間田高校との取組を継続し、花開くよう今後も協力していく。

【委員H】

勝間田高校にお願いしたいことは、安全安心な居場所であることと、魅力の発信である。

中学校で様々な課題を持った生徒がいるが、入学後、手厚く指導していただいている。勝間田高校を選ぶ理由は、落ち着いた環境で安心して3年間過ごせることと、様々な系列があり、普通科で学べないことが学べることである。

生徒会サミットで中学生と勝間田高校生とが交流する機会があるが、高校生になり生き

生きと活躍している姿を見ることがある。同じ町内にある中学校と高校とで連携・交流していければ、高校生の姿を見て中学生も未来予想図が描けると思う。

【議長】

これからの時代を担う若者たちをしっかりと支えていきたいという思いを共有できた。今後、行政・企業・学校もA Iは避けては通れない。人でないとやれないことが生き残る。人でないとやれないことを魅力として発信することが大事だと思う。魅力づけをどうするかが大きな問題であり、先生方はチームワークで乗り越えていく必要がある。

以前、ゼロハンカー全国大会に出場し優勝していた。ほかにもいろいろな研究をしているが、単年度ではなく継続できる研究テーマを各分野で作り、勝間田高校に行けばこの研究ができるということを魅力づけにしてはどうか。

また、農業クラブの全国大会で発表した生徒は、自信がつき成長を感じていた。保護者や地域に向けての発表の機会をつくり、そのことを魅力としていけるよう努力いただきたい。

【学校】

いろいろな意見をいただきありがたい。「見える化」していく必要性を、意見を伺いあらためて再確認できた。

選んでもらえる学校にするには、中学生に材料を与えていく必要がある。いろいろな手法で伝えていきたい。

【議長】

今後も委員の皆様には協力をお願いしたい。

9 その他

(1) 第2回学校運営協議会について 11月～12月上旬で調整

(2) その他

- ・学校誌「清しき風」の紹介
- ・清風祭体育の部の案内